

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

算 数		東京書籍
総 評		<p>児童が主体的な学びを進めていけるよう生活の中の算数を見つけたり、既習の内容を振り返ったりする活動や、対話的な学びを進めていけるよう吹き出しを使って、数学的な見方・考え方や統合的・発展的な視点を示唆している。学校調査においても、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に資するよう配慮されている」が評価されており、学校現場の実態と合っている。目次には関連する内容として、前学年と後学年の内容が明記されており、他には見られない工夫が見られた。</p> <p>吹き出しや記号などを多用することによって、1ページあたりの情報量が増え、必然的に図や表などの扱いが小さくなっていて、学校現場の実態からやや合わない部分もある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、本時の学習とまとめの間に考える手がかりとして吹き出しが多用されている。見通しをもって学習を進め、視点を明確にして話し合えるよう配慮されている。③
	2 内容の取扱い	○ 単元の導入では、生活の中にある算数を取り上げたり、既習の内容を振り返ったりして、児童が対話の中で学習課題を明確化する学習活動が用意されている。① ○ 単元の終末では、算数を生活に活かす学習活動（「いかしてみよう」）や単元を通して育った数学的な見方・考え方を振り返る学習（「つないでいこう算数の目」）が用意されている。①③
	3 外的要素	○ 幼小の円滑な接続のために、1年生の5月中旬までの学習内容をA4判の分冊にしている。そのため、教科書にブロックを置いたり、直接教科書に書き込んだりして学習を進めることができる。①
	4 構成・配列	○ 高学年にはプログラミングを学習する活動が用意され、教科横断的な指導も意識されている。① ○ 目次には関連する内容として、前の学年だけではなく、後の学年とのつながりも明記されている。②
	5 資料・その他	○ デジタルコンテンツが豊富に用意されている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし
	2 内容の取扱い	○ 学年が上がるにつれて、既習の振り返りを単元の導入に位置付ける割合が多くなる。日常の事象から算数を見つけるといふ、数学的な見方・考え方を育てるには配慮が必要な単元構成になっている。③ ○ 図形の作図や数量の関係を表に記入するには、紙幅が限られており、別紙を用意して学習に取り組まなければいけない場面が想定される。⑤ ○ 学年が上がるにつれて、具体的な操作活動が減り、念頭操作だけで学習が進んでいく傾向が見られる。⑦ ○ 数学的活動を分かりやすく可視化したページ（「今日の深い学び」）の位置が学年によって違う。教科書の始めに位置付けた方が、数学的活動を通してどのように深い学びを実現すればよいかの分かりやすい。⑥
	3 外的要素	○ 児童の思考を助けるために、吹き出しが多用されている。そのために、紙面を占める文字の割合が増え、1ページあたりの情報量が多くなっている。必然的に資料は小さくなり、読み取りづらい資料もある。②③
	4 構成・配列	○ 特になし
	5 資料・その他	○ 特になし

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

算 数		大日本図書
総 評		<p>児童が主体的かつ対話的に学習できるよう、「学びあおう」で、図や言葉でみんなに説明している絵や写真を用いて話合いの様子が詳しく紹介されていたり、巻頭に、どんなときに話合いをすれば効果的かが紹介されていたりするなどの工夫がみられる。学校調査においても、「主体的に学ぶことをねらった設定である」と評価されており、学校現場の実態と合っている。</p> <p>全学年に渡り、上下巻に分かれておらず、一冊が重く、児童にとって持ち運びにおいて負担になると考えられ、学校現場の実態からやや合わない部分もある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭に、どんなときに話合いをすれば効果的かが紹介されていて、主体的に話し合いながら学べるように配慮されている。③</li> <li>○ 「学びあおう」の場面では、図や言葉で説明している絵や写真などを用いて、話合いの様子が詳しく紹介されており、分かりやすい。③</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 要所に、「問題をつかもう、自分で考えよう、学び合おう、まとめよう」という記述があり、その学習の1時間の流れが分かるように配慮されている。①</li> <li>○ 単元のはじめの「あたらしい学習が始まるよ」のページでは、新しい学習の見通しがもてるよう配慮されていると同時に、日常的な場面から算数の問題に取り組むことができるよう配慮されている。③⑦</li> <li>○ 各学年の最初のページに教科書の使い方、1時間の学習の流れ、ノートを取り方などが紹介されていて、見通しをもって学習に取り組むことが出来るよう配慮されている。①</li> <li>○ 単元内のそれぞれの時間の学習のめあてが明記されている。④</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 登場人物に世界の国々の子どもが登場している。④</li> <li>○ 単元名がいつでも右上に表示されていて分かりやすい。③</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全学年にプログラミングに関連するページが設けられていて教科横断的な指導が行えるよう配慮されている。①</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末に前学年のまとめのページがあり、これまでの学習を簡単に振り返ることが出来る。①</li> <li>○ デジタルコンテンツが当該学年だけでなく、前学年の問題も参照できるようになっている。①</li> </ul>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特になし</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日常から学習の導入をしようとする意図は分かるが、子どもたちが実感の持てない導入になっている部分もある。③</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全学年が上下巻に分かれておらず、1冊が重い。②</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特になし</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特になし</li> </ul>

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

算 数		学校図書
総 評		<p>主体的な学び（自ら問題を見つけ、見通しをもつ）・対話的な学び（他者との協働、他者の意見の尊重）・深い学び（発展させ、統合する）というように、主体的・対話的で深い学びが問題解決学習の学習指導段階と関連づけられ、各時間の学習を進めていけるよう工夫されている。学校調査においても「問題解決の過程を考えた内容である」と評価されており、学校現場の実態と合っている。</p> <p>教科書の判型が他の会社と異なり、持ち運びや整理整頓をする際には配慮が必要で、学校現場の実態からやや合わない部分もある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 主体的な学び（自ら問題を見つけ、見通しをもつ）・対話的な学び（他者との協働、他者の意見の尊重）・深い学び（発展させ、統合する）というように、主体的・対話的で深い学びが問題解決学習の学習指導段階と関連づけられ、学習を進めていけるよう工夫されている。③
	2 内容の取扱い	<p>○ 算数を学習する中で働かせたい数学的な見方・考え方を明確化するために、「そろえてみると…」「きまりはあるのかな」「同じようにできないかな」など、それぞれの見方・考え方にキャラクターをあてはめ、児童が楽しみながら見方・考え方を身につけられるよう工夫されている。①</p> <p>○ 「4マス関係表」を取り上げ、数直線との関連の中で問題文からスムーズに立式できるよう工夫されている。⑤</p> <p>○ 算数を生活に活かす学習活動（「生活にいかす深めよう」）が用意されている。③</p>
	3 外的要素	<p>○ 判型が大きく、教科書を使った図形の作図や数量の関係を表にまとめる学習には適している。そして、折り込んでいるページが多く、広げれば資料を大きく見たり使ったりする学習には適している。①</p> <p>○ 色だけではなく模様も変えられたグラフを要所に配し、色に頼らずに学習が進められるように配慮されている。④</p> <p>○ 「赤色のチューリップ」や「黄色のクレヨン」など、問題や図に出てくる色については、写真や図の中にも色を文字で表し（2年生、6年生など）、色に頼らずに学習が進められるように配慮されている。④</p>
	4 構成・配列	<p>○ 全学年にプログラミングを学習する活動が用意されている。①</p> <p>○ 既習の学習を振り返り、その類似性や共通点に気づき学習を統合的に見る学習活動（「ふりかえろうつなげよう」）が用意されている。②</p>
	5 資料・その他	○ 身のまわりにある算数を見つけるページ（「みんなの町の算数」）が用意され、算数・数学が生活に役立つ場面に出会ったり、算数・数学の美しさに触れたりできるようになっている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし
	2 内容の取扱い	○ 単元の導入での日常の事象を想起させる漫画は、児童が対話によって学習課題を明確にするためには配慮が必要なものもある。③
	3 外的要素	<p>○ 判型が大きく、持ち運びなど児童が取り扱うには配慮が必要とされる。そして、折り込んでいるページも多く、児童が使ううちに装丁などが破れせつかくの資料が活用できないことも考えられる。①</p> <p>○ ページによって文字や数字のポイントが異なり読みにくい印象を受ける。②</p>
	4 構成・配列	○ 特になし
	5 資料・その他	○ 特になし

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

算 数		教育出版
総 評		<p>児童が対話的な学びを進めていけるように、吹き出しを使い、働かせたい数学的な見方・考え方をを用いることができるよう工夫されている。学校調査においても「数学的活動を意識した問題提示をしている」と評価している学校現場の実態と合っている。</p> <p>1ページの情報量が多く、誌面が読みにくい部分があり、学校現場の実態からやや合わない部分もある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 児童の発達段階に即して、論理的思考力・判断力、豊かな表現力等を育成するために「学んだことを使おう」が設けられている。④
	2 内容の取扱い	<p>○ 単元の導入では身近な題材を取り上げ、目的意識を持って数学的活動に取り組めるように工夫されている。①</p> <p>○ 「算数のミカタ」を巻末に掲載することで、今までの学習との関連が分かりやすく表されている。①</p> <p>○ 教科書の吹き出しが、問題解決の際に児童の思考の助けとなる。④</p> <p>○ 活用問題の場面で、日常生活に即した問題場面が多く取り上げられており、学んだことを日常に活かす工夫が見られる。⑦</p>
	3 外的要素	○ 折り込みを使ったページ構成の工夫が見られ、教科書に書き込んで行う学習に適している。①
	4 構成・配列	○ 学びの手引きが巻末に掲載され、既習事項が詳しく書いてあり、振り返りがいつでも行えるよう工夫されている。②
	5 資料・その他	<p>○ デジタルコンテンツがあり、学習の参考になる情報を閲覧でき、必要に応じて家庭学習などで活用できる。①</p> <p>○ ページ下部にコラムとして身の回りの算数が掲載されており、算数を日常に広げる工夫が見られる。発展的な内容も掲載され、中学校にもつながる。②</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 挿絵に配慮を要するものがある。⑤
	2 内容の取扱い	○ 巻頭の「はじめの一步」で学習の進め方を説明しているが、この時間の内容や時数の扱いに配慮を要する。④
	3 外的要素	○ 5年生が合冊になっており、やや分厚く重くなっている。①
	4 構成・配列	<p>○ プログラミング教育に関連する題材が5年生で取り上げられているが全体的に量が少ない。①</p> <p>○ コラムや活用問題が充実しており、数学的活動のよさや楽しさに気づかせるような工夫がなされている。反面、誌面の情報量が多く読みにくいページもある。②</p>
	5 資料・その他	○ 特になし

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

算 数		啓林館
総 評		<p>巻末に「算数資料集」というページを設け、自分の考えなどを分かりやすく説明する話型や、関係図、数直線のかき方など、算数の学習でよく使われる考え方が用意されている。巻末の付録も充実している。学校調査においても「資料は学習内容に応じて正確・適切に用意されているか」の項目が評価されており学校現場の実態と合っている。</p> <p>単元の終わりの練習問題が基本的な問題に取り組む1ページのみであり、学校現場の実態からやや合わない部分もある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1つの問題に対して、いろいろな考え方があつてということを登場人物の吹き出しのセリフにより紹介するなど工夫されている。③④</li> <li>○ 題材が関西に関連したものが多く取り扱われている。②</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元のはじめの「じゅんぴ」のページでは、日常的な場面から算数の問題に取り組むことができるよう配慮されている。③⑦</li> <li>○ 単元の終わりに「振り返ろう」というページを設け、分かったことやできるようになったこと、もっとやってみようについて考えることができるよう工夫されている。⑥</li> <li>○ 教科書の最初のページに教科書の使い方、1時間の学習の流れ、ノートの取り方などが紹介されていて、見通しをもって学習に取り組むことができるよう配慮されている。①</li> <li>○ 単元内のそれぞれの時間の学習のめあてが明記されている。④</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2年生から4年生までは上下巻に分けられていて持ち運びが軽くすむ。①</li> <li>○ 絵や写真が大きく見やすく使われている。③</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の終わりには「学びのまとめ」というページを設け学習の内容や過程を振り返ることができるよう配慮されている。②</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末に「算数資料集」というページを設け、自分の考えを分かりやすく説明する話型や、関係図、数直線のかき方など、算数の学習でよく使われる考え方が用意されている。①</li> <li>○ 巻末の付録が充実している。①</li> <li>○ QRコードを読み取るページがあり、読み取ると学習の参考になる情報を閲覧でき、必要に応じて家庭学習等で活用できる。①</li> </ul>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特になし</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 複合図形の面積を求めるページでは、実際の長さを測って計算するようになっているが、長さに誤差がでる恐れがある。①</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1ページの中に内容が詰め込まれている感じがする。②</li> <li>○ 5年生が合冊になっているため、やや分厚く、重い。①</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の終わりに基本的な問題に取り組むページだけでなく、早くに問題ができた子どものために、発展的な問題に取り組むページが欲しい。もしくはもう少し練習問題が欲しい。①</li> <li>○ 折り込んであるページが多く、児童が使ううちに装丁などが破れ、せっかくの資料が活用できないことも考えられる。①</li> <li>○ プログラミングに関連する内容が書かれているが、見出しとして書かれていないので意識しづらい。①</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特になし</li> </ul>

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

算 数		日本文教出版
総 評		<p>学習指導要領で示されているプログラミングを1学年から6学年まで全ての学年で計画的に取り上げ、効果的な指導が行われるよう構成・配列されている。学校調査でも「構成・配列」の教科横断的な視点における項目が評価されており学校現場の実態と合っている。</p> <p>その反面、ページ構成により課題とまとめが見開きになっているページがあり、学校現場の実態からやや合わない部分もある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「自分でみんなで」により、思考力、表現力を働かせる場面を具体的に示し、学習の見通しをもたせることで、主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に資するように配慮されている。③
	2 内容の取扱い	○ 「学び方ガイド」という学び方を参照できるシートがあることで、シートを参考に各学習場面の学びを進めていくことができる。また、裏面には算数科の学習で使いたい言葉や考え方が掲載され、児童の思考力、判断力、表現力を育成できるように工夫されている。⑤
	3 外的要素	○ 文章が文節で改行されているので読みやすく、児童が理解しやすくなるように工夫されている。②
	4 構成・配列	○ プログラミング教育に関連する題材が全学年に取り上げられて、教科横断的に指導ができるよう構成されている。① ○ 巻末に「算数マイトライ」という応用・発展問題が準備されており、児童一人一人の実態に応じて取り組むことができる。数学的な面白みを感じる問題もあり、学習したことをもとに論理的思考力の育成が図れる。②
	5 資料・その他	○ デジタルコンテンツがあり、学習の参考になる情報を閲覧ができ、必要に応じて家庭学習などで活用できる。① ○ 児童にとって身近な問題場面や資料を扱い、学習意欲を引き出すような工夫がされている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ ページ構成により、課題とまとめが見開きになっているところがあるため、論理的思考力・判断力、豊かな表現力の育成に配慮が必要。④
	2 内容の取扱い	○ 特になし
	3 外的要素	○ 学年によって挿絵のタッチが変わり、少し見にくく感じる学年もある。また、人物の写真が正面を向いているカットが続くと、目線が気になる。③
	4 構成・配列	○ 巻末の前学年までの既習事項の振り返りが2ページしかなく、内容が詰め込みになっている。もう少し誌面を取るほうが分かりやすい。②
	5 資料・その他	○ 特になし